

東日本大震災及び原子力災害に係る資料及び記録等の収集・保存・活用に関する県内市町村の取り組みについて

(県内 59 市町村より回答) R1.7.8

主な活動	市 町 村			
震災関連記録誌の発行	<浜通り> 13 市町村 新地町、相馬市、南相馬市、飯館村、浪江町、双葉町、大熊町、富岡町、川内村、葛尾村、楡葉町 広野町、いわき市			
	<中通り> 15 市町村 国見町、桑折町、福島市、伊達市、本宮市、玉川村、川俣町、郡山市、三春町、須賀川市、西郷村、鏡石町、矢吹町、石川町、白河市			
	<会津地方> 2 市町 西会津町、会津坂下町			
	<その他> 福島県、字誌（浪江町長泥地区、浪江町請戸地区）			
自治体独自の震災資料の展示 (計画、既存施設利用も含む)	・相馬市 【既設】相馬市伝承鎮魂祈念館（平成27年4月1日オープン）			
	・南相馬市 【既設】市立博物館・市防災センター内で資料を展示			
	・富岡町 【計画】アーカイブ施設設置（アクションプランに記載）			
	・いわき市 【計画】震災メモリアル中核拠点施設（令和2年度開館予定） 【既設】『いわきの東日本大震災展』（いわき・ら・ら・ミュウ）			
	・葛尾村 【既設】郷土文化保存伝承館内で資料を展示			
	・新地町 【計画】釣師防災緑地公園内に展示施設を設置予定			
	・楡葉町 【既設】ならは交流館での復興展示 みるーる天神において、ARで津波の映像を提供			
デジタルアーカイブの運用	・郡山市、富岡町、川内村 平成27年4月より「郡山震災アーカイブ」（デジタル アーカイブ）を運用、公開資料数：約54,000件（総務省 補助事業）			
	・双葉町 平成27年4月からHPで資料や活動の記録を公開（筑波大学との連携）			
	・飯館村 平成27年5月からHPで公開（写真（約3,000点）及び動画（約100本））			
行政文書の保存	<table border="0"> <tr> <td> ・検討中 ————— 18 市町村 ・年限で破棄 ————— 20 市町村 ・永年保存 ————— 19 市町村 ・その他 ————— 2 市町村 </td> <td style="font-size: 3em; vertical-align: middle; padding: 0 10px;">}</td> <td> 条件付きで県アーカイブ拠点施設へ提供可 10 市町村 （会津若松市、郡山市、国見町、本宮市、只見町、浅川町、楡葉町、大熊町、双葉町、川内村） * 検討なし </td> </tr> </table>	・検討中 ————— 18 市町村 ・年限で破棄 ————— 20 市町村 ・永年保存 ————— 19 市町村 ・その他 ————— 2 市町村	}	条件付きで県アーカイブ拠点施設へ提供可 10 市町村 （会津若松市、郡山市、国見町、本宮市、只見町、浅川町、楡葉町、大熊町、双葉町、川内村） * 検討なし
・検討中 ————— 18 市町村 ・年限で破棄 ————— 20 市町村 ・永年保存 ————— 19 市町村 ・その他 ————— 2 市町村	}	条件付きで県アーカイブ拠点施設へ提供可 10 市町村 （会津若松市、郡山市、国見町、本宮市、只見町、浅川町、楡葉町、大熊町、双葉町、川内村） * 検討なし		
その他	・浪江町、双葉町、大熊町 ————— アーカイブに関する3町勉強会を実施			
	・福大WG（大熊・双葉・富岡・浪江・楡葉・福島県・県博・福大）～H29まで開催			
	・福島県 ————— ふくしま記憶と未来体験アプリを公開（相双地域）			